



大槌

広報おおつち NO.570

漁業復興へ二つの拠点
白澤みさきさんインタビュー
「ひょうたん島日記」



11

2013. 11. 5



大槌湾に停泊する「新青丸」= 10月4日



「牡蠣ノ星」プロジェクトのポスター



立地協定書に調印したヒューマンウェブの吉田琇則社長（右）と碓川豊大槌町長（左）= 10月9日、大槌町役場

を漁業復興に貢献する。新青丸は全長132メートル、幅13メートル、排水量1,300トン、最大速力13ノットで、1月9日に大槌町に到着した。船体には母港の「大槌」の名が記されている。

新青丸は全長

新青丸は全長

新青丸は全長

新青丸は全長

新青丸は全長

新青丸は全長

6x1トル幅

132ノットで建

1x1トル幅



船体には母港の「大槌」の名が記されています

陸の海の復興へ研究船
母港の「新青丸」

新おおつち漁協組合長代行の 部力さんは「生産者として、いいカキを提供し、信用を築くよう努力したい。指導いただき、消費者が望むカキを作りたい」と話しています。碓川町長は立地協定書を調印した後、「大槌牡蠣ノ星」が、ばたき、大槌の水産を引する素晴らしい事業に育ってほしいと抱負を語っています。

作で海の 子を撮影し、地質調査のためのサンプルを取る無人探査機を 載せます。東北マリンサイエンス拠点形成事業は、東北大が代表機関、東京大気海洋研究所と海洋研究開発機構が 代表機関です。新青丸の母港には、その東京大気海洋研究所がある大槌町に決まりました。大槌漁港は復旧工事のために接岸できず、岩手県が今後、接岸できるように整備します。

の産地復興に貢献する。ヒューマンウェブは、大槌町に進出する。

ヒューマンウェブは、大槌町に進出する。

漁業復興へ向けて二つの拠点が町にできることになり、大槌町の産地復興に貢献する。ヒューマンウェブの進出が、大槌町の産地復興に貢献する。関係者は大きな期待を寄せています。

カキ料理店

1月9日、町と

牡蠣ノ

23

に、大槌町の産地復興に貢献する。ヒューマンウェブの大槌進出には、ノロウイルスの感染リスクを低減させる。

1億円を見込んでいます。牡蠣ノ星プロジェクトは、3人は、全員、地元から雇用する

4時間浸し、浄化、安全性